

令和4年度 第3回瑞浪市男女共同参画社会推進会議要旨

日時:令和4年11月19日(土) 15時30分～16時23分

会場:瑞浪市総合文化センター 3階講堂

出席者(敬称略): 渋谷典子、古澤辰広、龍頭美雪、浅沼克郎、野田順子、勝股文雄、
中山千鶴、丸山良美、大竹悦子、渡邊喜美代、唐 蓉嵐、須藤茂美、
鈴木実千江、河野通昭、安藤友美、各務和子

〈事務局〉 まちづくり推進部長 小木曾昌弘、生活安全課長 工藤雄一
生活安全課人権啓発係 永田智恵、渡邊栄子

議 事: (1)令和4年度瑞浪市男女共同参画市民講演会の振り返りについて
(2)令和5年度瑞浪市男女共同参画市民講演会について
(3)今後のスケジュールについて
(4)その他

内容

(進行:事務局)

1. まちづくり推進部長あいさつ

(部長)皆さん、本日は男女共同参画市民講演会のために、ご尽力いただき、ありがとうございました。コロナで中止が続いておりまして、講演会ができたことを嬉しく思います。今回もコロナの第8波の入口ということもありまして開催が危ないところでしたが、みなさまのご協力のもと、開催できてほっとしております。当市は来年度から、第7次総合計画という、向こう10年間の市政の計画を立てております。その中で、ジェンダーという視点も非常に大切であるということから、人権という面も含めて、市政の計画の中に入れていこうと思っています。また、来年からは、この男女共同参画プランも立てていくことになります。みなさんが、この会議の中で、ご意見をおっしゃったことが、反映されると思いますので、どんどん意見を頂戴したいと思っております。よろしくお願いいたします。また、今日講演会が終わったばかりですが、来年度の講演会について準備を始めていきたいと思っております。講師の先生や会場を確保するのに、1年前から準備が必要となりますので、なにとぞよろしくお願いいたします。本日はありがとうございました。

2. 座長あいさつ

(座長)本日は、本当にありがとうございました。ほっと一息して、みなさまとこの時間を持つことができ、安心しております。コロナがまた厳しい状況になってきておりますので、今後のことはまだまだ検討することがたくさん出てくると思いますが、まずは、講演会が始まる前に、田巻弁護士と2人で話をする中で、彼女も、生活時間の話をする時間が頂け嬉しいと話していたので、それを改めて伝えたいと思います。先ほども口頭で申し上げましたが、講演会の際、推進会議メンバーの皆さんを紹介したくて立っていただきましたが、みなさんのご協力があったのこの会議です。感謝申し上げます。今回の講演会が終わったとともに、次の講演会に向かっていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

3. 議事

(1)令和4年度瑞浪市男女共同参画市民講演会の振り返りについて

(座長)議事1について、事務局から説明願います。

(事務局) (資料に基づき説明)

(座長)本日の講演会の参加者は何名でしたか。

(事務局)58名申し込みがあり、当日欠席等がございまして、参加者は49名でした。

- (参加者) 質疑応答の中で興味を持って聞かせてもらいましたが、メンタルが大切だという話がありまして、男女共同参画を検討したり、広めたりするにも、個人々の健康があつてこそだと思いました。
- (参加者) 田巻先生の講演は、データや、数字を使って納得性のあるご講演だったなと思っています。私は、現役ではありませんが、こういう話は、働いているときに聞けばよかったなと思っています。特に、もう一度、女性の大変さを見直さなくてはならないなと思いました。
- (参加者) 講演を聞けば聞くほど、男女共同参画とは何だろうと疑問が新たに湧いてきます。その中で、一生懸命子育てをしている娘と、その辺の共通点があればと思いますが、娘の方がよく知っておるのかなとも思ったところです。委員になって 7 年目ですが、男女共同参画について、まだまだ分からない状況ですので、勉強して、また来年度に繋げられたらなと思います。今日、コロナ禍でしたが講演が聞けて良かったなと思います。
- (参加者) 3年間中止で、今回講演会を開催できて夢のようで、未だに信じられない状態です。田巻先生にお会いできて、働くことってやっぱり大変だなと思いました。特に、コロナ禍で働くことがいかに大変かということが分かりました。娘と嫁が自由な仕事を持っていたものですから、勉強をさせなくてはいけないということで取り組んできたことが、よかったなと思っています。今の若い方は、男性も育児休業を取られて、夫婦ともに子育てをするということは、子どもにとっては本当に大切だなと思います。私も長い間、男女共同参画の委員を務めてきましたが、締めくくりの年として、来年は一生懸命頑張ろうと思いますのでよろしくお願いします。
- (参加者) 聞いていただきたい方の年齢層がちょっと少なかった気がします。良いお話でしたけど、子育てが終わっている年齢層が多かったように思うので、少し残念だと感じました。それと、田巻先生は弁護士をやっていたらしゃるので、もう少しお仕事を絡めたお話を聞きたかったなと思いました。
- (参加者) 講演会は、推進会議の役をやらせてもらって初めてなので、良かったなと思いました。今日の講演のなかで、「かえせ☆生活時間プロジェクト」というお話を聞きながら、4つの生活時間の視点から生活を見直すという点で、自分の生活も大事だなと思いました。もうひとつは、社会に出てから学ぶことの大切さ。家庭科は女性だけという世代ですから、女性がやるのが当たり前、奥さんがやるのが当たり前というようなところをまだまだ引きずっている世代としては、こういうふうに勉強させていただく機会も大切だなと感じました。
- (参加者) 今日の話は、もう少し若い世代対象の話かなと思いますが、後半の質疑応答で、田巻さんと渋谷さんの掛け合いがとても良く、進行がすばらしくて、皆さんもリラックスできて、楽しいな、来て良かったなと思って帰られたかなと思いました。
- (参加者) 今回の講演会で、男女共同参画が何をやろうとしているのかが分かってきました。渋谷先生が瑞浪市を褒めている意味がやっと分かりました。テーマが壮大すぎて男女共同参画やジェンダーというのを、分かっているようなつもりでも、実際分かっていないということが、余計話を難しくさせているなという感じがしました。田巻先生が示されたデータも大切だと思います。かつ、具体的な話というのがすごく大事で、質疑応答で、男性が育児休業を取得した話をされたのが、一番よく分かるなと思いました。個人的には、企業の幹部の方とか、学校の先生が、こういう話を聞きに来ると良いと思いました。若い人たちも、自分たちの意見を教えてほしいし、年配の方、企業の方、幹部の方もそういう話を聞いてどう思うかというのも聞いてみたい。お互いの世代が分かり合えるのではないかと思います。
- (参加者) みなさんの生活が、誰かの犠牲の上に成り立つのではなく、みんなが生きやすい社会という大切さを、この講演会で皆さんも認識されたのではないかなと思いました。すごく良い講演会だったと思いますし、特に、渋谷先生との質疑応答ではすごく良い質問を投げかけられたり、こんなにたくさんの方が質問されるとは予想していなくて、和やかな良い会だったのではないかと思います。後は、このような考え方が政策の方に反映していかないと、なかなか社会は変わっていかないのかなと思っています。

(参加者)リモートワークが広がり、子育て、家事に従事する時間が男性も増えたというような話もありましたが、自分たちの頃は、親と同居だったため、嫁さんにとっては、大変気苦労もあったのだらうと思います。その中で協力はしたつもりではいたのですが、どこまで協力できていたかなと今疑問に思っているところです。今日の参加者の中で、育児休業を取ったということを聞いて、それぐらいにして一緒にやらなくてはいけなかったかなと反省をしております。企業の取組状況とか、今日のような子育てをやっているよという話をいろんな場所で聞けると、育児休暇を取りやすくなると思っていますので、そのような方の意見も聞いてみたいと思っています。

(参加者)今日の講演会で一番思い出したのは、子育てはライフワークではなくて、ワークワークということで、自分の体験からも、ワークばっかりだったなと思いました。

(参加者)田巻先生のお話は、データが中心で、世の中のいろいろなデータから知ることができて、良かったです。もう少し、お仕事の実践のお話も織り込んでいただくと良かったかなと思います。自分の娘夫婦を見ていると、共働きで、家事も育児も、きちっと分担してやっています。そこに理解と協力があって、そのうえで成り立っているの、会場の中で発言された方も言っておられましたが、若者にとっては、当然な形になってきているのだらうなど実感しています。ですが、世代間ギャップを目の前にすると、自分と置き換えたときに、夫に家事をしてもらうことが、受け入れられるかなと思いました。

(参加者)田巻先生のデータの話の中で、やっぱり日本の女性は圧倒的に負担が多いという印象を受けました。私は中国で育ち、8時間労働は当たり前だと思っていましたが、実際子どもを産んで、仕方なくパートに変えました。主人は残業があり、田巻先生も保育園の制度で、弁護士を続けられたとおっしゃっていましたが、私もそうでした。学校の時間を8時間にしてほしい。大人と働く時間と同じにしてほしい。学校は6時間で、小学生は3時や4時に帰ってきて、女性はどうやって働けばいいのか。パートや専業主婦になってしまう。それが、社会の問題点の一つになってくると思います。今の女性は、働く意欲が強いと思います。子どもがいると、自分の働く時間が減ってしまうと感じていると思うので、少子化にも繋がると思います。母親の時間が確保できるようになれば、結婚や出産する人が増えると思います。今回の講演会は、データを見て、みなさん関心があるようなので、良くなっていくのではないかなと思いました。

(参加者)田巻先生のお話は、データを踏まえての具体的なお話で、とても分かりやすく良かったです。男性の方の育児休業を取られた体験談は、すごく新鮮で良い話が聞けたなと思いました。いつも感じていることは、世代の違いです。私たちの世代は、男性の家事や育児の経験が少ない。女性がやるのが当たり前だったので、自分もそう思ってやってきましたが、娘夫婦を見ていると、育児も家事もお互いにできる方がやっている。娘の夜勤が続くと、次の日は、娘の夫が、代わってくれたり、お互いに協力し合いながら子どもを育てているのをみると、世代によって考え方がかなり違うと感じます。娘から、もっと主人に自分でやるように言ったらいいのと言われるが、そんな余分なことは言わなくてもいいと言ってしまうので、主人に、今の考え方をどう伝えていくのかを、日々思って生活しております。こういった機会に話を聞きに来るといいのですが、それもなかなか難しいなと思います。

(参加者)コロナ禍で3回中止になって、やっとできて良かったなと思いました。田巻先生のお話を聞かせていただいて、実践的なところをお聞きしたかったのですが、非常に親しみやすい、そんな感じで聞かせていただきました。質疑応答の時間は、少し短くなってしまったかもしれませんが、渋谷先生に上手に進行して頂けて理解が深まったような気がします。さすがだなと思いました。田巻先生のお話の中で、家庭科を別習していたという話がありましたが、私が知っている若い人、甥とか姪とかは、ほとんどの子が男女教習です。そういうことがあってかどうかは分かりませんが、おしめはさっさと替えるし、妻が仕事でいないときは料理を作っているみたいだし、掃除とかもやっているのではないのかなと思います。すべてそうだとは言えませんが、教育の力で、今の若い人たちは、

男女平等の世の中で楽しんでいるのかなと思っています。それでもなお、メンタルの面でプレッシャーを感じるということがあるようです。ある企業の化粧品とか健康食品等を扱っている日本の大企業の話をちょっと聞いたことがあって、その企業でいうと、課長以上の管理職を 50%と目標を定め、現在 48%となっているそうです。そこまでの目標を達成しつつある中でも、女性だからという思い込みで、女性の方から、部長になるのは嫌だとか、取締役員になるのは無理だとか、自分から身を引いていくことがあるそうです。そういうことを少しでも解消していくために社内教育を徹底されているそうです。そういうところの話も聞いてみたいかなと思っています。食事の用意をどうするかとか、洗濯や掃除、子どものこととか、ちゃんとできるだろうかというところの不安やプレッシャー。役職に対するスキルがあるかないかよりも、そっちのことが多いようなことを聞きました。その辺の話もお聞きできたらいいのかなと思います。大変、勉強させていただけたのかなと思っています。

(座長) みなさん、一人一人から大変貴重で実りあるご意見を頂きありがとうございます。ひとつ情報ですが、この期間、朝日新聞で、シンクジェンダーというのをやっていまして、男性側が、いろいろと辛かったというような記事が載っています。図書館等でも朝日新聞を取っていると思いますので、ご覧いただけたらと思います。今日は、データ上では、女性はとっても大変だということが分かりましたが、また男性は男性なりに、ちょっと違った意味での思いがあるようです。ここ一週間ぐらい、載っているの、ネットでも読めるかもしれませんが、それも合わせて考えていただけたらと思います。

(座長) 皆さまにご意見いただきましたので、議事 1 は承認されました。

(2) 令和 5 年度瑞浪市男女共同参画市民講演会について

(座長) 議事 2 について、事務局から説明願います。

(事務局) (資料に基づき説明)

(座長) すでにご提案いただいている内容としては、女性管理職が 50%以上活躍している企業の話や、男性で育児休業を取られた方の体験談や、瑞浪市内、市内と限らなくてもよいが、企業の方をお呼びして、企業でどんな取り組みをしているのか、というような意見があったかと思いますが、他に何かご希望はありますか。

口頭でなくても、こちらのアンケート用紙に書いていただくということでも大丈夫ですので、話を聞きながら書いていただければと思います。先ほど、教育分野の話もあったので、学校の状況を聞くのもいいかもしれませんね。時間に限りもありますので、ご意見がありましたら、また後でご発言いただくか、アンケート用紙に書いていただければと思います。

(座長) それでは、議事 2 は承認されました。

(3) 今後のスケジュールについて

■ 第4回推進会議

日時: 令和5年2月20日(月) 13:30~15:30(予定)

会場: 瑞浪市保健センター 3階大会議室

内容: 令和4年度の振り返り、令和5年度の計画

市民意識調査の結果報告について

第3次プラン策定に向けての提言書について

(座長) 議事 3 について、事務局から説明願います。

(事務局) (レジュメに沿って説明)

(座長) 何かご質問はありますか。

< 間 >

(座長)他にご質問がないようですので、議事3は承認されました。

これで議事が終了しましたので、事務局に進行をお返しします。みなさん、ご協力ありがとうございました。

(事務局)スムーズな進行をありがとうございました。

4. その他

(事務局)それでは続きまして、「4、その他」に移ります。

事務局から、2点ほどお願いがございます。

○次回2月20日の推進会議ですが、確定申告の時期と重なりますので、市役所の駐車場が大変混雑する可能性がございます。こちらの文化センターの駐車場に止めていただき、事務局で送迎したいと考えております。

開催通知に、その旨ご案内させていただく予定でおりますので、手数をおかけしますが、よろしくお願いいたします。

○続きまして、地域選出の方をお願いがございます。議事(2)で申し上げましたとおり、今年度末で、現 会議参加者の任期が満了となることから、連合自治会長さんに、次期参加者の推薦依頼をさせていただきます。再任の意思確認が必要なことから、地域選出の方におかれましては、氏名・住所・電話番号を、該当地区の連合区長会長さんに情報提供することについて、ご承諾いただきますようお願いいたします。なにか不都合がございましたら、この後、事務局までおっしゃってください。

(事務局)今の説明に対して、何かご質問ありませんか。

<問>

(事務局)これもちまして、令和4年度 第3回瑞浪市男女共同参画社会推進会議 を閉会します。

来年度の講演会に関するアンケートをご提出いただいた後、解散したいと思います。長時間にわたり、お疲れ様でした。ありがとうございました。

閉会